様式87の37

腹腔鏡下肝切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

の施設基準に係る届出書添付書類

|  |
| --- |
| １　届出種別　　・新規届出　（実績期間　　年　　月～　　年　　月）　　・再度の届出（実績期間　　年　　月～　　年　　月） |
| ２　標榜診療科名（施設基準に係る標榜科名を記入すること。）科　　科　　 |
| ３　腹腔鏡下肝切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）を術者として合わせて10例以上実施した経験を有する常勤医師の氏名等 |
| 常勤医師の氏名 | 勤務時間 | 腹腔鏡下肝切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）の術者としての経験症例数（10例以上） |
|  | 時間 | 例 |
| ４　常勤の医師の氏名等（消化器外科について専門の知識及び５年以上の経験を有する者２名以上、そのうち１名以上が10年以上の経験を有する者） | 診療科名 | 常勤医師の氏名 | 勤務時間 | 当該診療科の経験年数 |
|  |  | 時間 | 年 |
|  |  | 時間 | 年 |
|  |  | 時間 | 年 |
| ５　麻酔科標榜医の氏名 |  |
|  |
| ６　当該保険医療機関における腹腔鏡下肝切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）等の実施症例数  |
| ①　腹腔鏡下肝切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）の通算実施症例数（３例以上） | 例 |
| ②　１年間に実施した肝切断術、肝切除術又は腹腔鏡下肝切除術の症例数（20例以上） | 例 |
| ③　１年間に実施した腹腔鏡下肝切除術の症例数（10例以上） | 例 |
| ７　常勤の臨床工学技士の氏名 |  |
| ８　緊急手術が可能な体制 | 有　　　　　・　　　　　無 |
| ９　保守管理の計画 | 有　　　　　・　　　　　無 |

［記載上の注意］

１　「１」は特掲診療料施設基準通知第２の４の（３）に定めるところによるものであること。

２　「３」及び「６」については、当該手術症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添２の様式52により添付すること。

３　「３」及び「４」の常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記入すること。

４　「５」については、麻酔科標榜許可書の写しを添付すること。

５　当該届出は、病院である保険医療機関のみ可能であること。